

研 修 参 加 報 告 書

平成29年 9月28日

会 派 名 江政クラブ
会派代表者 河合 正猛

(参加者： 尾関 昭)
研修参加の結果について、次のとおり報告します。

年 月 日	平 成 2 9 年 8 月 2 6 日 (土)
研修時間	1 0 : 0 0 ~ 1 7 : 0 0
研修場所	東京大学 駒場キャンパス 18号館
研修内容	日本地域創生学会 全国自治体職員・首長・地方議員の集い (講師：)

研 修 参 加 報 告 書

①

年 月 日	平 成 2 9 年 8 月 2 6 日 (土)
研修時間	1 0 : 0 0 ~ 1 7 : 0 0
研修場所	東京大学 駒場キャンパス 18 号館
研修内容	日本地域創生学会 全国自治体職員・首長・地方議員の集い (講師:)
■目的 国の進める「地方創生」について、その真の意味を解き、地方行政に如何に活かしていくか、多くの同志と共に学ぶ事を主眼に置き研修を行った。	
■内容 【第3部会】 地域企業や民間団体の今後の展開を考える 講師 ・児玉克哉 (SSI 大学教授)・鈴木周也 (行方市長) 茨城県行方市 先例 平成 23 年→28 年 で 小学校 18 校→4 校、中学校 4 校→3 校 に統廃合 人口 は 2005 年→2017 年 で 4.1 万→3.5 万 廃校 (跡地) 利用…なめがたファーマーズヴィレッジ サツマイモに特化し、セブンイレブンの冷凍食品『大学いも』の全量契約 ※ 公共施設の再配置 (統廃合) は、跡地利用を同時進行で進めること。 【基調講演】 地方創生の展望 講師 ・和泉洋人 (内閣総理大臣補佐官、地方創生国土強靱化担当) リニア新幹線 名古屋以西 (～大阪) 2045 年→2037 年に前倒した事により 東京⇄大阪 60 数分の圏内に 6,000 万人が住む、スーパーメガリユージョン (構想) の実現に向けた国の動きと地方との連携を推進していく。 【第4部会】 地域政策の現状と課題 ①地域産業育成 講師 ・末松広行 (経済産業省) ・館 逸志 (国土交通省) ・上田博和 (日本政策学校) 木質バイオマス発電 5,000kw の事例。 国産メンマ (シナチク) 竹林の産業化、6 次産業化 の事例。 都会と地方、特に地方は連携中枢都市圏 (30 万人) 単位で構成する施策を。 財政破綻した夕張市の事例から、再建の手法と町おこしの可能性を探る。	
■所感 P D C A サイクルの中における Action の部分は、民間提案型であったり、首長 主導であったり色々あるが、常時アンテナの感度を良くしておいて、柔軟な発想の 下、即時実効性に対応出来る行政内での体制作りが、成功の鍵となると感じた。	